



東京理科大学

維持会レター

第40号

vol.40 2024.7



学校法人 東京理科大学 理事長

浜本 隆之

維持会会員の皆様におかれましては、日頃より本学の維持発展に多大なるご協力を賜り、誠にありがとうございます。

本学は先日、第2期となる学部・学科再編構想を公表いたしました。神楽坂キャンパスには理学部第一部の新学科「科学コミュニケーション学科」を、野田キャンパスには本学にとって実に33年ぶりの新学部である「創域情報学部」を開設する計画です。今回の再編により、先端的な情報科学技術を強化すると共に、そのすそ野を広げていくことで、新たな学部・学科を中心とした全学的な情報系人材の育成を多面的かつ強力に推進してまいります。

こうした人材の育成には、革新的・先駆的な教育の展開、またその基盤となる環境の整備が欠かせません。葛飾キャンパス第二期新棟である「共創棟」の竣工も間近に控えておりますが、今後は野田キャンパスの改修、更に神楽坂キャンパス全体の再構築も計画しており、教育研究環境の充実に向け、尽力してまいります。

昨今、物価上昇の勢いは留まることを知らず、また本年は年初に甚大な自然災害もございました。学生がいかなる状況においても経済的な理由で学びを断念することがないように、手厚い支援体制を整えることは、大学としての重要な使命です。こういった課題に対応するために、理事会といたしましては、盤石な財務基盤を築くべく、これまで以上に注力してまいりますので、皆様からのお力添えをいただけますと幸いです。

1881年、「東京物理学講習所」として創設された本学は、2031年に創立150周年を迎えます。今後も、皆様からのご期待に応えられるよう、大学・法人が一丸となって努めてまいります。この大学で未来を担うべく勉学に励む学生たちのため、より良い世界を作るべく日々研究に励む研究者たちのため、そして先人たちから受け継いだ大切な財産であるこの「東京理科大学」の発展のため、引き続きのご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



東京理科大学 維持会 会長

酒井 陽太

日ごろは維持会の活動にご協力をいただき厚く御礼を申し上げます。皆様には本学発展のためのご寄付、学生に対する奨学金給付へのご支援をいただきましたことに心より感謝申し上げます。

さて本学の創立理念は「理学の普及をもって国運発展の基礎とする」ですが、当時の日本が西洋の文明と対峙した時の危機感と驚きと憧れの同居する世相から生まれ出た報国の理念でした。この理念はある意味、社会貢献を目的としており、東京理科大学はその役割を果たすべく努力し、また十分にその責を担ってきたと言えます。

この社会貢献について石川学長は、ご講演のたびに、「近年、大学の役割は教育と研究だけではなく、社会貢献も重要なものとして加わってきている」と話されています。

ノーベル生理学・医学賞を受賞された大村智先生は「社会に役立つ仕事をしなさい」と言われています。また、理科大学大学院時代の教官からは「金がないからできないという者は、金があっても何もできないといわれた」と述べておられます。

私たちは、「理学から工学そして情報へ」と本学が時代と共に積み上げてきた科学技術をもって、今の時代に相応しい社会貢献とはどのようなものなのか、どのようなことができるのかを考えて行く必要があります。

維持会は、誰かを支援する事、それ自体が社会貢献の一つの姿であるとの考えのもと、本学の一層の発展に寄与できるよう尽力して参ります。

なお維持会では、今秋、奨学金を受けた学生と冠奨学金にご支援をいただきました方との顔合わせの企画を予定しています。どのような方が奨学金を出してくれているのか、どのような学生を支援しているのか、お互いを知ることが有意義であると考えた次第です。

今後とも、皆様のご協力をどうぞ宜しくお願いいたします。

第 90 回 常任維持会報告

東京理科大学維持会は、東京理科大学創立者の先生方からの寄付によって財政の苦難を乗り越えた遺徳にならい、大学の維持及び発展に寄与することを目的とした組織です。

維持会は、東京理科大学維持会会則にもとづき、常任維持会を設置し運営しております。常任維持会の構成員は、栄誉会員及び特別会員のうちから 10 名以内を、理事長が理事会の議を経て委嘱することになっており、2024 年 5 月現在 10 名の方が常任維持会員として委嘱されております。常任維持会は、年 2 回開催され、法人の維持及び発展に寄与する活動に関する事、維持会会員に関する事、寄付者に対する顕彰に関する事などを審議しております。



2024 年 5 月 16 日に開催された第 90 回常任維持会について、主な点を報告いたします。

1. 維持会会員承認について

2023 年 10 月 1 日から 2024 年 3 月 31 日の間に寄付された新規会員 13 名と追加寄付 448 件について報告があった。

2. 顕彰者について (2023 年 10 月 1 日～2024 年 3 月 31 日)

特別会員に 3 名が昇格及び入会したことの報告があった。

特別会員 : 匿名
山口 友佳子 様 本学卒業生の保証人様
藤城 崇 様 昭和 47 年理学部第一部応用数学科卒

【常任維持会】

会 長 酒井 陽太
副会長 岡本 公爾 加藤 和詳
会 員 秋山 仁 岡村 総一郎 坂本 功 望月 圭一郎
本山 和夫 山田 義幸 吉本 成香

(任期:2020 年 12 月 28 日から 2024 年 12 月 27 日まで)

【維持拡充資金(第二期) 寄付額】

(2023年10月1日～2024年3月31日)

個	人	44,821,000円
団	体	130,000円
こ	う	10,998,000円
法	人	243,040,742円
合	計	298,989,742円

【維持拡充資金(第二期) 寄付総額】

(2023年4月1日～2024年3月31日)

個	人	104,310,200円
団	体	290,000円
こ	う	25,631,000円
法	人	243,640,742円
合	計	373,871,942円

表彰者

募金顕彰の会(2024年5月16日開催)において、特別会員に昇格した方(3名)に浜本理事長(写真左)から表彰楯を贈呈しました。今回は東京物理学校の木造校舎の外観を復元した近代科学資料館にて開催しました。表彰者の皆様は本学創立から140年のあゆみや歴史ある所蔵品等をご見学されました。



特別会員 宗政 信傑 様
平成21年理工学部工業化学科卒



特別会員 福田 善政 様
昭和40年理学部第一部化学科卒



特別会員 原 豊 様
昭和52年理学部第一部応用数学科卒



冠奨学金を受給した学生からのメッセージ

2023年度に学生80名に対して、21,250,000円の奨学金を給付しました。各冠奨学金を受給した学生から感謝のメッセージが寄せられましたので、皆さまの暖かいご厚志に対する感謝の気持ちと、将来への志を持って懸命に勉学に励む姿をご紹介します。

今後とも、本学の発展にご理解とご賛同をいただき、格別のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

●冠奨学金に採用された感想

◆理学研究科物理学専攻博士後期課程 1年

奨学生として採用されたことで、金銭的・時間的に少し余裕を持つことができたため、精神的にも良い状態で研究活動を行うことができました。また、渡辺一之奨学金に採用された奨学生として、「研究活動に一層精を出して取り組んでいかなければ」という心構えをすることができ、それが自分にとっては研究を進めていく上でのモチベーションとしてプラスに働いたと思います。

◆工学部電気工学科 2年

私は関智弘奨学金に採用され、その知らせを受けた時は驚きと同時に感謝の気持ちで一杯でした。採用されたことにより、経済的な負担を軽減でき、学業に専念できる環境が整いました。より一層、学業へのモチベーションが高まり、大学生活も充実することができました。寄付者の方の温かいサポートに胸を打たれ、今後も精一杯頑張ることを決意しました。将来的には、私も経済状況が困難である学生を支援する側につきたいと思いました。

◆工学研究科電気工学専攻修士課程 1年

採用された時、まず「自分だけが良い思いをするようではない」「必ず自分の周りにも良い影響を与えられるようにしたい」と思いました。アルバイトの時間を減らすといった、奨学金により生まれた時間で研究や就職活動に専念することができれば、自身の研究分野に大きく貢献することや、大学院での研究を活かした様々なサービスを作り出す職に就き、社会貢献をすることもできます。頂いた奨学金はそれ以上の価値を生み出すつもりで使用していきたいと考えております。

◆創域理工学部生命生物科学科 4年

まず初めに、私を細川斉子奨学金に採用していただき、ありがとうございました。大学4年生になり、研究生として卒業研究に勤しみ、なかなかアルバイトに時間を割くことが難しくなってきた中でこの奨学金によって生活を維持することが出来たのは、回り回って研究生生活の充実にも結びつくものであり、良い成果報告が出来るものと思います。修士課程に進学した後もこれまでの成果にさらに上積みをし、学部4年間の学びを最大限活かそうと思います。

●奨学金をどのように活用しましたか？

◆理学研究科物理学専攻博士後期課程 3年

予定していた通り学費の支払いに充てさせていただきました。その分金銭的に余裕が生まれ研究室に行ける頻度も増え、後輩や先生方と昼食の場でディスカッションをする機会もあり、明確に研究活動にプラスになりました。

◆理学研究科科学教育専攻修士課程 2年

大学院学費および交通定期の支払い、科学教育に係るボランティア(東京理科大学みらい研究室実行委員会)などの課外活動に充てさせていただきました。

◆薬学部生命創薬科学科 2年

受給した奨学金は自己学習のために薬剤師国家試験対策参考書、更なるTOEICのスコアアップを目指すためにTOEICの対策問題集や受験料などに充てました。

◆工学研究科電気工学専攻修士課程 1年

学費の一部および、タブレットの購入など研究活動を向上させるための費用に主に充てました。また、語学力向上のため、英語の参考書や資格試験の費用に利用させていただきました。

2024年度は、「寄付者の名前を付した奨学金(冠奨学金)」が新たに5つ増えました

渡辺一之奨学金	✦	大澤賢一奨学金	✦	関智弘奨学金	✦	白井康雄奨学金
森野義男奨学金	✦	細川斉子奨学金	✦	鶴志会奨学金	✦	宗政信傑奨学金 ^{New}
鶴田禎二奨学金 ^{New}	✦	深山邦武奨学金 ^{New}	✦	深山義枝奨学金 ^{New}	✦	ラックランド奨学金 ^{New}

●いま大学で力を注いでいること

◆理学研究科物理学専攻博士後期課程 2年

昨年度までは有力な宇宙論モデルを太陽系程度の弱重力を有効的に記述できるかどうかを検証するという研究を行っていましたが、今年度は強重力場での検証に着目し暗黒物質の候補として有力視されている理論においてブラックホール解を探索する研究を行いました。現在この研究に関する論文を執筆中です。

◆理学部第二部物理学科 2年

就職活動に向けて資格試験の勉強や準備をしています。外資系のインターンなど、選択肢が増やせる様にTOEIC800点を6月までに取ることを目標に、春休みも日々勉強しております。

◆工学部電気工学科 3年

現在大学生活で力を注いでいることは、自分の専門分野について自主的に学習することです。当初迷っていたものの、現在は画像処理分野に進みたいと思うようになり、自主的に資格試験を受験したり、画像処理関連の展示会に足を運ぶようになりました。

◆創域理工学部生命生物科学科 4年

私は現在、骨肉腫などのがん細胞でよく見られる、あるタンパク質の機能欠損の原因探索を行っていますが、まだ原因の特定に直接繋がるようなデータをあまり得られていないので、それを得るべく日々実験と結果の考察に精進しています。

●支援をくださった方々へのメッセージ

◆理学研究科物理学専攻博士後期課程 2年

奨学金を授与いただき、深く感謝しております。このご支援があったからこそ、経済的な負担を減らし研究に集中でき、博士学生を続けることができます。貴重な機会をいただき、心から感謝申し上げます。

◆理学部第二部数学科 2年

この度は素晴らしい機会をいただき、本当にありがとうございます。大きな喜びとともに、ご期待に応えられるよう身の引き締まる思いです。これからもより一層勉学に精進し、理学の普及の一端を担えるように臨みます。

◆創域理工学部生命生物科学科 4年

この度は奨学金へのご支援ありがとうございました。理科大は私学ということもあり、自分を含め学費の支払いに苦悩する学生も多いのではと思います。今回のご恩を忘れずに、いつか自分も支援者になれればと思います。

◆創域理工学部生命生物科学科 3年

改めてこの度は鶴志会奨学金に採用していただき、ありがとうございました。近年の物価上昇の中、大幅に生活にゆとりをもたせ、より文武に集中できる環境を作ることができ、感謝の気持ちでいっぱいです。今後とも文武両道を目指して精進していきたいと思っています。

※都合により、一部編集して掲載しております。
※2023年度の所属・学年を掲載しております。

2023年度に奨学金を受給した学生からの感謝のメッセージは、このほかにも多数寄せられており、本学ホームページでも紹介しております。今年も引き続き、ご支援ご協力のほどよろしくお願いいたします。

メッセージページは
こちら



寄付の詳細は
こちら



ご好評につき、オープンカレッジ無料受講を継続します！



2023年に10万円以上のご寄付を賜った方に対して、「東京理科大学オープンカレッジ」2024年度春夏講座の中から1講座を無料でご受講いただきました。受講後、寄せられたコメントの一部をご紹介します。

～受講した感想～

とても素晴らしい講演でした。

興味のある内容でしたから、役に立ちました。

新しい知識が得られて有意義であった。

～東京理科大学への応援メッセージ～

素晴らしい研究・教育により社会に役立つことを願います。

少子化の中、存在感のある人材を輩出する最高学府を目指してほしい。一つにはやはり社会貢献ですね。

今後も継続寄付しますので益々の発展を期待しています。

ご好評につき、2024年1月から12月までの1年間に、寄付金額10万円以上を賜った方は、「東京理科大学オープンカレッジ」2025年度講座の中から1講座を無料で受講いただけます。この機会にぜひ、理科大ならではの学びを体験してみませんか？

※語学講座を除いたすべての講座を受講いただけます。

※オンライン型／会場型をお選びいただけます。

※受講対象者の方には、2025年2月末頃に案内を発送する予定です。



オープンカレッジの講座はこちら

理科大オリジナルグッズの贈呈！

2024年1月から12月までの1年間に、1万円以上のご寄付を賜った寄付者の方々に、オリジナルグッズを贈呈いたします！

※オリジナルグッズの内容は変更となる場合がございます。

※2025年2月頃に発送を予定しております。



サンプル

都道府県別維持会会員数一覧

2024年3月31日現在

会員種別 会員格付	栄誉会員							特別会員		終身会員		普通会員						
	SA	AA	A	B	C	D	E	F	G	H	I							
北海道								1	1	2	1	6	1	10				
青森												6		2				
岩手									1			1	1	5				
秋田											1			3				
山形												1	1	3				
宮城									1	2	1	2	1	3				
福島														6				
茨城								1	3	1	5	1	19	9	35			
栃木								1	1	2	4	3		6				
群馬										1	2	1		15				
埼玉				1			3	1	3	8	6	22	5	40	17	68		
千葉				1		1	1	1	3	1	1	11	4	31	9	60	26	97
東京	1		1			2	2	6	4	17	5	32	13	61	27	131	80	244
神奈川					1			5	1	2	1	9	4	17	10	54	30	121
長野										1	1	1	3	1	8	2		15
山梨												1	3					3
静岡												2	3	4	3			13
愛知	1								1	1	2	1	1	1	4	2		17
岐阜												1	2	1				4
福井									1	1		1				1		3
石川										1			2					3
富山												1	1	2				4
新潟													1	2	2			10
三重												1	2	1				4
滋賀												2						2
大阪										1	2	2	2	3				8
京都										1	1			3				5
奈良														3	1			2
和歌山						1								1				2
兵庫									1			4	2	2				6
鳥取																		1
島根																		1
岡山												1	3	3				11
広島										1	2	6	1					11
山口												1	12					25
香川												1	4	1				
徳島													1	1				5
高知					1													
愛媛														1	1			2
福岡												1	1					4
佐賀																		
長崎														1				1
熊本																	1	2
大分														1				5
宮崎												1	1					1
鹿児島												2	1					3
沖縄													2					2
不明												1	1					3
計	0	0	1	2	2	4	16	28	72	172	400							796

赤字は物故者数

ご住所などの変更があった場合は、下記まで必ずご連絡ください。

募金・維持会についての問い合わせ先

学校法人東京理科大学 募金事業事務室

〒162-8601 東京都新宿区神楽坂1-3
TEL 03-5228-8723 (ダイヤルイン) FAX 03-3260-4363
<e-mail>bokinjigyo@admin.tus.ac.jp
<URL><https://www.tus.ac.jp/donation/purpose/>

募金について



維持会について



印刷・製本 東洋美術印刷

